

吉備の国の賢人を語りつなぐ会と 映画試写会「地の塩 山室軍平」

医療・福祉による地域づくりの シンポジウムと特別試写会

故郷の母を思い、
世の苦しむ人たちのための闘いに生涯を捧げた、
日本の社会福祉の先駆者、山室軍平の生涯。

主 催	山室軍平の映画を作る会と吉備の国の賢人を語りつなぐ会 賢人を語る会実行委員会
顧 問	橋本徹 日本政策投資銀行 相談役 前東京岡山県人会 会長 「方谷さんを広める会・東京本部」 会長
顧 問	岡崎彬 岡山ガス株式会社 取締役社長 岡山県商工会議所連合会 会長 「方谷さんを広める会」 応援連絡会 代表
実行委員長 後 援	青木佳之 医療法人 青木内科小児科医院 理事長 岡山県社会福祉協議会、山陽新聞社、朝日新聞岡山支局、テレビせとうち（TSC）、 山陽放送（RSK）、岡山放送（OHK）、KSB 瀬戸内海放送、
後援（予定）	岡山県、岡山県医師会

平成 28 年 10 月 27 日（木）12:00～16:30
さん太ホール 岡山市北区柳町 2-1-1（山陽新聞社本社ビル）



試写会には製作協力券（1,200円）が必要です（当日券は1,500円になります）

ご挨拶

新しい地域社会のイノベーションを起こす為には、いまの縦割りの世界観から郷土の地域を場とした歴史・文化・人のつながりを大切に作る世界観の創造とそれを育むことがもっとも大切なことだと思われまます。郷土の偉人や賢人やひたむきな人生を送った多くの先輩の生涯を顧み、また、それらを見える化（映像）にすることにより新たな郷土の新しい知恵とつながりが生まれてくることを期待します。

超高齢少子化社会の医療・福祉・介護・教育の分野での縦割りの制度の中の運用から生じる課題を解くには、地域に根差した地域包括ケアシステムの構築と活用が期待されています。

この度、我が郷土・岡山の出身で日本の福祉・医療の先駆者である救世軍の日本司令官の山室軍平の生涯を映画・ドラマ化することにより多くの人とのつながりができ、地域づくりや地域観光に貢献するが可能となります。この業績の語らいにより、新しいつながりができる事を期待します。

また、ご協力をいただきました、多くの方々に感謝申し上げますとともに、今回の試写会と語らいにご参加いただきますようお願い申し上げます。



山室軍平

山室軍平は明治5年、岡山の貧しい農家に生まれました。母は、無事に成人すること、少しでも人の役に立つ人になることを祈り、生涯卵を食べないことを誓います。軍平は9歳で質屋の叔父の養子に出されますが、勉強したい思いから

15歳で東京に飛び出し一人で生きようとしてます。その時、キリスト教の救済の精神を知り、新島襄の同志社で学びたいと京都へ行きます。学校が始まる前に久しぶりに故郷に帰ると、軍平を思い卵断ちを続けている母がいました。軍平はその母に涙し、人の役に立つ人になると改めて強い意思を持ちます。同志社を出て、労働者として働きながら平民のために生きようと決心したまさにその時に救世軍と出会いました。信仰による救済の前に、実生活を救おうとする救世軍はまさに軍平の理想の場所でした。貧しさは変わらぬ軍平でしたが、世の苦しむ人のために新たな戦いを始めます。娼妓自由廃業運動をはじめ、無料労働紹介所や結核療養所、児童虐待防止運動など多くの慈善活動を起こしました。そのひたむきな活動は、現在につづく日本の社会福祉の礎を成しています。

シンポジスト



木原 活信 氏 同志社大学社会学部教授 博士（社会福祉学）
「山室軍平の思想」

-同志社・キリスト教・社会福祉界における位置と評価-
福岡県出身。広島女子大学助教授、東京都立大学助教授、トロント大学客員研究員を経て、現職。専門領域は、福祉思想史・福祉哲学、ソーシャルワーク論。社会福祉法人京都基督教福祉会理事。学校法人同志社評議員・理事。
主著に『J. アダムズの社会福祉実践思想の研究』（川島書店 1998）（福武直賞受賞）、『対人援助の福祉エッセイ』（ミネルヴァ書房 2003）、『社会福祉と人権』（ミネルヴァ書房 2014）、『弱さの向うにあるもの』（いのちのこぼれ社、2015）、『自殺をケアするということ』（ミネルヴァ書房、2015）、「同志社のアイロニー—山室軍平の中途退学—」『新島研究』第82号 1993（新島論文賞受賞）



丘 真奈美 氏 歴史作家、放送作家・プロデューサー
「歴史が結ぶ『縁』」

～秦氏が結ぶ『日本のハリウッド・太秦』と吉備国、そして映画制作と地域づくり～

合同会社京都ジャーナリズム歴史文化研究所代表
歴史作家・放送作家・番組プロデューサー

①京都市の映画一家に生まれる。1985年京都ノートルダム女子大学文学部英語英文学科卒業。出版社、NHK・民放勤務を経て現職。

②毎日放送「映像80'ともだち」で文化庁芸術祭大賞受賞。日本史（古代～中世）

秦氏、京都の歴史文化の研究・執筆、講師。会社の事業として番組制作、脚本、文化観光事業等。京都市観光おもてなし大使、伝統文化の森協議会文化的価値専門副委員長等自治体有識者委員会多数。



八木 基次 氏 新見 山室軍平から学ぼう哲多の会 代表
「山室軍平が教えてくれること（やさしさの原点）」

1963年4月 岡山県立新見高等学校 卒業

1967年3月 京都教育大学理学科卒業

1967年4月 岡山県立弓削高等学校講師として勤務開始

以後県内の高等学校（高梁市立松山高等学校 新見北高等学校 高梁高等学校 川上農業高等学校 高梁市立宇治高等学校）で勤務

2005年4月退職 退職後新見市哲多総合センター館長として2年間勤務

退職後 児童保育の手伝い 哲多町文化協会員 など

現在 山室軍平映画化を機会に、地元有志と共に

「山室軍平から学ぼう哲多の会」を立ち上げ勉強中。

毎週水曜日に実施、現在 15回まで実施



八木橋 康広 氏 高梁教会牧師 博士（神学）

「山室軍平の信仰と備中高梁の地域特性及びキリスト教会の活動」

1987年 同志社大学神学部卒業

1989年 同志社大学大学院神学研究科博士課程前期入学

1993年 同研究科修了

1991年-1995年 日本基督教団松山教会伝道師・副牧師

1996年-1998年 ハイデルベルク大学（ドイツ）留学

1998年 日本基督教団高梁教会（高梁基督教会）牧師となり現在に至る

2006年 同志社大学神学研究科博士課程後期入学

2013年 同研究科修了（同志社大学博士（神学））

2004-2007年 高梁市立高梁小学校PTA役員（副会長）

2010-2013年 岡山県立高梁高等学校PTA役員（副会長・会長）

同校学校評議員

監督紹介



東條 政利 氏

『地の塩 山室軍平』監督

新潟県長岡市出身。新潟県立長岡高等学校、同志社大学文学部社会学科卒業。

KYOTO 映画塾ディレクターズコースを卒業後、1996年『ピーター・グリーンウェイの枕草子』（イギリス・フランス・オランダ合作、監督ピーター・グリーンウェイ）に制作スタッフとして参加。その後、助監督として国内外の数々の作品に携わる。

2006年、『9/10 ジュウブンノキュウ』で監督デビューする。

司会者紹介



福原 由紀子 氏 タレント

岡山県出身
関西外国語大学 外国語学部 英米語学科卒業後、ソニー企業株式会社に入社。

その後 英語講師の傍ら CM、再現ドラマ、バラエティ、対談番組、映画等出演。

人事・人材育成 会社の顧問も務める。

日程

予定	時間
開 場	12:00～
シンポジウム	12:30～14:20
休 憩	14:20～14:30
監督挨拶	14:30～14:40
特別試写会	14:40～16:30

問い合わせ先

賢人を語る会実行委員会 事務局

住 所：岡山県岡山市南区大福 281-5

電話番号：086-281-2277

（青木内科小児科医院内）

担 当：鈴木一史、陶（すえ）智美